

# ピースクラブ通信

No.37

発行 社会福祉法人 ピースクラブ  
 住所 〒203610014 大阪市浪速区大田1丁目11-1  
 連絡先 TEL 06-6647-2077  
 Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp

## もうすぐ宮古島に住みます

みやこじま す  
 森本秀治

宮古島に家を作るという話は2年程前から大西さんから話されていたことですが、それが昨年から本格的に動き出し、9月に出来上がる予定です。

その家は、究極のエコと究極の癒やしを兼ね備えた物です。建物に使用しているコンクリートには、健康素材の水を入れ、壁は健康素材塗ってと、この家に

に居るだけで健康になれるのです。これらの水や健康素材はピースクラブも参加している水の学習会の主催者であるCDAの物です。そして、100坪もある屋根には、ソーラーパネルが敷き詰められ、建物は沢山の自然の風が通るように設計されています。また、地下5mにパイプを通し、地下の空気を屋内に取り

込んで夏は、涼しく、冬は、暖かい風が出ます。水は、雨水をタンクに貯める。このタンクの中にはCDAのミネホールが入っていて、おいしい水だけでなく、腐らない水。非常用には床下の基礎の中の水が周りの睡蓮を浮かべた側溝と繋がらずに循環して非常時に対応してくる。

他にも沢山工夫したところがあります。それは、皆さんが来たときは、皆さんが来たときのお楽しみと言うことで、このすばらしい建物を設計して頂いたのが久高島に住んでいらっしゃる西銘さんです。本当にありがとうございます。さいました。こういうお話を聞きました。本当にありがとうございます。私がおもてなすところは「共生共遊」と言うことに焦点を当てて何か出来たら良いかなあと考えています。「共生」と言う言葉はなじめが無いと思います。

このすばらしい建物を設計して頂いたのが久高島に住んでいらっしゃる西銘さんです。本当にありがとうございます。さいました。こういうお話を聞きました。本当にありがとうございます。私がおもてなすところは「共生共遊」と言うことに焦点を当てて何か出来たら良いかなあと考えています。「共生」と言う言葉はなじめが無いと思います。



働」・「共有」に比べて二の次という感が今までであったように思いますが、ですから、気候の温暖な宮古の地に私の友人たちを呼んで思い存分楽しめるようなことを考えて行けたら良いと思います。

### 太平の湯は、障害者差別？

### それとも電動車椅子拒否？

森本さんの提案を6月8日に実行した。当日は、予定通り森本さんと二人で行き、何かあれば、ピースのスタッフに駆けつけてもらうように計画していた。僕は、実行にあたり、少し不安もあった。それは、太平の湯の店員により対応が違うのではないかと、という不

いと考えています。そしてそのことが口コミで広がってくれば良いと思います。そのため企画もいくつか考えています。具体的ことは又の機会にします。ぜひ、皆さんも今まで以上に多く宮古島に来て下さいね。

※CDAとは、12錠石を焼成して炊き出した免疫力が高まる水を開発している会社です。

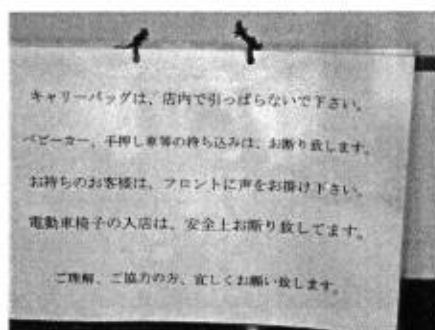
### その2

佐伯利也

安だった。言い換えれば、せっかく森本さんに行ってもらっているのに普通に入れるのではないかという心配でした。けど、そんな心配は無用でした。二人でカウンターに行き、森本さんが受け付けの人に「お願いします」と言いながら入浴券を渡そうとすると、二人

の車椅子を見て、受け付けの人は、何も言わずにすぐさま事務所に連絡を入れていた。すると、すぐにこの前の店員（僕が脱衣所まで引きずった人。名前は大原）が出て来た。大原さんは、森本さんに向かって「電動車椅子はお断りしてるので、お帰り下さい」と言い、

僕には、「車椅子の人は、二人で来られてもダメですよ。」と言ってきた。森本さんが、「何ですか？」と問うと「電動車椅子は重たいから床が傷つくから困るんです。それに電動は危ないし、現にこの前この人（僕のこと）に足を引かれたんです。」と言ってきた。その後森本さんが「この車椅子は、重たくないし（現に軽量タイプ）、床に傷は付きませんよ。それに人に対しては、充分に気を付けますから」と丁寧に言っているのにも関わらず、大原さんは耳を傾けようとしなかった。そのやり取りをみて、これはあかんと思



い、上村君に電話してピースのスタッフ5人に来てもらった。太平の湯側はもう一人出て来られて9人での押し問答になった。が話が一向に噛み合わずにあげくの果てには、営業妨害だと言いつつ、前同様に警察を呼ばれることになった。そして警察が来て互いの言い分を話し、警察が、その場を修めるた

めに「ゆっくり時間をとって話し合えばどうですか？」という提案をしてきて、太平の湯側もそれに応じ、その日は退散した。が、後日の相手の返答は、僕の予想通り話し合う余地無しというものでした。その返答を聞き、森本さんが法務局の人權擁護係に相談を持ち掛けました。6月22日に二人で法務局に行きました。法務局では、個別にゆっくり時間をかけて当日の様子と個々の要望を聞かれました。その後、二人に今回の件に対する法務局としての役割と見解の説明がありました。法務局として出来ることは、佐伯さんと森本

さんの要望を聞き相手さんに伝えることとそれに対する相手さんの意見を聞くことです。それにあくまでも法に基づいてしか何も出来ませんのでご理解下さい。法的に言えば、スパー銭湯でも二種類あり、太平の湯が公衆浴場であれば、入店拒否出来ない義務があるのだけれども、残念ながら太平の湯は一般浴場になってるので入店拒否も法的には店側の自由になるから、法務局としては、どうにも出来ませんよと言われた。そして、この件についてのこれからの流れを伝えられこの日を終えた。7月25日に法務局の担当者の方が



こんにちは、初めまして草野祐依です。今年の5月頃から働かせて頂いております。

## 自己紹介

草野祐依

来られピースのスタッフに太平の湯に対するこれまでの聞き取り調査がありました。法務局の担当者は、今までの調査を基にして後日太平の湯側に調査を行います、結果報告があるよ

うです。僕の感想としては、あまり良い結果報告は望めないと思いますが、とりあえず結果報告を待ってからの次の対策を考えたいと思います。

のですが、私は料理は得意な方ではなく、と言いますか、まったく出来ないと言っているほどの腕前なので、迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導よろしくお願います。3階の入浴のお手伝いでは利用者さんの服を着せたり、腕がせたり作業のお手伝いがうまくできず、時間がかかってしまっているのですが、早くできるように頑張りますので、温かい目で見守っていて下さい。まだまだ、慣れないことも多く、迷惑をおかけすることも多いと思いますが、これからも宜しくお願いします。

## これからのスケジュール

- 8月25日(土) 14時～  
ここからサロン夏まつり
- 9月8日(土)～9日(日)  
エイサーまつり 千島公園  
今年はお店していません
- 9月23日(日)  
宮古島エコハウス竣工式
- 10月7日(日) 予定  
河栄さんライブ

## 千代さんを偲ぶ

上村将章

7月15日に突然の訃報、生田千代子さんが事故で亡くなった。驚きで声にならなかつた。翌日ピースクラブ4Fで葬儀が行われ、多くの方が葬儀にかけつけた。大正の斎場までは、車6台に乗れるだけ乗って千代さんを見送った。それまで涙が出なかつた僕だが、い

よいよ火葬される時に申さんの「千代さん」のかけ声に涙がどつとあふれた。千代さんは、ピースでは存在感のある人だった。すごく世話をやくことが多いが、本気で怒ることもない憎めない人だった。

毎朝10時にピース3Fに来て、風呂場横

のいつもの特等席に座る。眠い時には、到着早々パターンと音をたてて横になる。昼間に寝ると夜が寝なくて大変なので、みんなが交代で千代さんを起こす。たまに寝ないように横にピッタリ座っている

と、「寝かしてーやー」「気持ち悪いなー、この男」今まで気持ち悪い呼びわりされたことのない僕だったが、だんだんそのフレーズを聞くのを楽しみに待っていたものだ。千代さんの起きている時はたいてい「お茶ちょーだー」「もー、うるさいなー」「早よ、家帰らしてーやー」が多かつた。静かだなーと思つていると、部屋から抜

け出していたり、いつの間にか台所のお茶を飲んでいたり。一見ぼーっとしてるようだが、千代さんの前に食べ物や飲み物を置き忘れると百発百中えじきになったものだ。悪びれた様子もなくひょうひょうとしていた。とられた人は本気で怒っていたが、その素早さによく笑わしてもらった。その他、紙に意味深な言葉を書き綴ったり、片足をブラブラせては、一人でモゴモゴ言っていた。かと思つと満面の笑顔で大笑いをしていて。部屋の端に居ても聞こえるぐらいの大きな声で笑っていた。「よっほどの楽しい世界があるんやなー」と感心したものだ。その世界はほんの数分間だけで、現実の世界に戻つて来ると、眉間にしわを寄せ、難しい顔をしていた。「今日何にも食べないねん、先食べさせてーやー」「もう帰らせてーやー」を言つて、それがかなわないとまた楽しい世界に出かけて行った。もうその姿を見ることができないと思うと寂しさを感ずる。あの楽しい世界がどんな所だったの

だろうか聞いておけば良かった。今はその世界に居るのだろうか。みんなを笑わせ、楽しませてくれた千代さんに「今までありがとう」と言いたい。